

OB大道亮さん優秀修士論文受賞！一大道さんコメント
Mr.Daido is awarded the Excellent Master's Thesis Prize !

またまた嬉しいニュースが研究室に舞い込んできました！OG田中暁子さん(日本都市計画学会論文奨励賞：99号掲載)、OB今村洋一さん、OG山田渚さん(不動産学会湯浅賞：101号掲載)に続き、昨年度修士課程を修了されたOBの大道亮さんが2009年日本建築学会優秀修士論文賞を受賞されました！論文のテーマは「2001年以降の都市計画道路の見直しに関する研究-岐阜県を事例として-」。本当におめでとうございます！早速、大道さんからコメントを頂いてきましたのでご紹介します。

Congratulation ! Here is good news for us. Mr. Akira DAIDO(our Old Boy) is given the Excellent Master's Thesis Prize! His theme of master's thesis is [A Study on Review of City Planning Road after 2001 -A Case of Gifu Prefecture -]. Immediately, we introduce his comment on winning.

一受賞にあたっての感想を一言

このような賞をいただけるとは思っていませんでした。ただただ驚きました。とはいえ、あの論文は当時の精一杯を尽くしたものでしたから、それが評価されたことについては、とてもうれしく思っています。忙しいときも丁寧に指導して下さった先生方・先輩方に感謝、感謝です。

一研究テーマ設定のきっかけ

高山プロジェクトを通して、越中街道の類似事例を探し始めたのが直接のきっかけでした。都市計画道路の見直し自体はかなりニッチな現象だと思いましたが、少し深掘りしてみると興味深いものであることが分かってきたので、そのまま突っ走りました。

一論文執筆において苦労したこと

調査段階ではかなり苦労しました。対象地が遠かったことありますが、誰がどんな情報を持っているのか把握しないままに走り出してしまったので、せっかく現地に行っても十分な調査ができずに帰ってきてしまったこともありました。都市計画の実務と社会調査

の基礎について、もっと勉強しておくべきでした。

一論文執筆において心がけたこと

M2の10月過ぎあたりからは、何らかの仮説を持つことを心がけました。仮説を持っていないと調査すべき項目とか、研究会会議での論点とかがぼやけてしまいますから。

仮説構築は1人ではできなかったの、伸さんを捕まえては議論につきあっていただいていたました。(大変ご迷惑をおかけしました)

一研究室の後輩に一言

ただ単に「調べました→まとめました」ってのではなく、自分なりの問題意識とか都市への思いとかに基づいて研究すると、きっと楽しいと思います。

一今後の抱負

仕事でも都市関連の調査研究に携わり続けることになるでしょうけれども、仕事以外で、自分なりの問題意識に根ざしたマイテーマを持っていたいなあと思います。

**■ 大道さん経歴**

2007年3月 東京大学工学部
都市工学科卒業
2009年3月 東京大学工学系研究科
都市工学専攻修士課程修了
修士(工学)
2009年4月～野村総合研究所

大道さん、お忙しい中、コメントを頂き、本当にありがとうございました！研究室一同、ますますのご活躍を祈っております！

Jayさん修論提出!**Master's thesis submitting**

7月24日、Farris Jayさんが修士論文「Community Involvement and Urban Farmland Conservation:The Impacts of Nerima's Experiential Farms」を提出されました。提出を終えて一言頂きましたので、ご紹介します。

text_Jay

提出はなるべく早めに終わるよう心がけましたが、結局提出はぎりぎり。記入漏れや印刷の不具合など様々なことが起こりました。同期は私しかいないので、寂しさを感じていましたが、最後はプリンタを独占できたし、研究室の皆さんも手伝ってくれ、ここにきて初めて一人の良さを感じました。手伝ってくれた研究室の皆様、本当にありがとうございました。

M1黒川、集合住宅設計演習に幕!**M1 Kurokawa, Maneuver of design has finished**

演習を終えた千葉大学出身のM1黒川に、他大学の視点から、都市工の源流ともいえる集合住宅設計演習について語ってもらった。

M1 黒川 佑人

学部ではランドスケープを専攻しており、都市におけるpublic spaceの緑地空間を中心に考えてきたが、集合住宅の設計演習はpublic space-semiprivate space-private

spaceの関係性を分析し、提案に結びつけることが自分の中になかったの、新鮮であり、都市工の都市に対するアプローチ手法の源流を感じることができました。提案では設計手法を考え抜くことで終わってしまったので、これからは実空間としてのリアリティをさらに考えていきたいと思えます。

演習を通して諸先生方にお世話になりましたが、窪田先生にはお忙しい中個人的にエスキスをしていただき、さらにM1のみんなにもエスキスや模型制作で手伝ってもらいました。この場を借りてお礼申し上げます。

留学先からの便り

Letters from destination of going abroad to study

-フランス、イギリス、ベルギーに留学中の研究室メンバーの近況報告-

France



お昼に公園でおにぎりを食べるのが楽しみ

D3 江口 久美

留学先では、フランス国立社会科学高等研究院 (EHESS) で、領域社会開発学部にも所属し、日本研究所においてオギュスタン・ベルク先生に研究のご指導をいただいています。大学には研究室が無い為、学生は自宅や図書館等で研究しています。週に2回程度行われる先生の講義に出席して、研究の話等をするのが、先生や学生同士で顔を合わせる手段となっています。昨年度の講義は、「居住の詩学」「風土学の疑問」「日本の空間の仕掛けと概念」「東洋アジアにおける居住と風景」でした。平日は10時から18時まで、古きバリ委員会の図書館及びアーカイブに1日籠って文献を読んでいます。お昼に近くの公園でおにぎりを食べるのが楽しみです。あと1年の期間で、百余年分の委員会の議事録を読みこなして、自分が日本に対して何ができるかじっくり考えたいと思います。



▲昨年8月にスリジー・ラ・サルで行われたベルク先生主催の学会

Britain



イギリスでもおいしいご飯は出てきます

M2 柴山 浩紀

どうも英国よりこんにちは、The Bartlettで都市デザインを専攻しています、柴山です。英国の食事はまずいとの都市伝説がありますが、気付かないうちに自分の舌が麻痺するのかそれほど気にならず、実際おいしいご飯を出してくれるところはいくらかもあります。ただ、旅行の場合はそのような場所を見つけるのはなかなか難しく、だいたいは豚の残飯のようなものを食べさせられてしまうのでしょうか。日本食の流行ぶりは尋常ではなく、不思議な変形を経た寿司の数々がスーパーで陳列され、日本カレーと称したタイカレーもちらほら見受けられますが、それも次第に慣れてしまうものです。

紙面を割いて英国の食事について語るのもどうかと思いますが、これでひとつでも英国への誤解を解けたらと思っています。



▲学校のメインの建物。東京大学で例えれば安田講堂のような建物。

Belgium



へたくそな絵は言葉より通じることを実感

空間研 M2 豊辺 将嘉

2008年秋から半年間、ベルギーのSint-Lucas建築学校に留学した。現地では建築設計スタジオでの演習が生活の主軸。テーマは、「都市の編集」。既存市街地をどのように分析し、建築的な介入をしていくか。ブリュッセルは日本の地方都市に似ている。車を中心にした生活と郊外のスプロール。一つ違う点は、中心部に低所得の移民が住んでいるということだ。僕が住んだのも、アラブ人街とトルコ人街に挟まれた、現地の日本人に言わせれば最も危険なエリアだった。

この課題のもと、公共空間の現況調査を行ない、結果を踏まえてデザインを行なった。学生はヨーロッパ各国から集まっており、英語での議論が中心だったが、へたくそな絵を何枚も書いて見せる方が話が早く、絵を描きながら考えるデザインの定石が有効だということに改めて気づかされた。



▲豊辺留学中ブログ公開中。
<http://pole-on-the-roadside.blogspot.com/>にて。

プロジェクト報告 Project Reports

佐原 佐原の大祭に圧倒！夏の実験への意気込み増す text_suzuki



現在佐原PJは、8月13-15日に行われる夏祭りでの、「回遊性」の実験に向けての準備を進行中。7月12-13日は事前調査・打ち合わせを兼ねて、佐原の大祭を観覧。佐原の名物である祭の雰囲気によって圧倒される一方、8月の祭りでのイベント・実験を成功させようという気持ちが高まりました。8月の祭りでは、学部3年生の3名が協力してくれることになり、若返った佐原チームで取り組んでいきます！
スタッフとしてでなく、観光客としてでよいので、皆さん是非お盆は佐原にいらしてください！

浅草 「シャボン玉」を使ったイベント開催を決定 text_suzuki

7月22日、地元の一葉桜国際通り振興会の方々との会議に参加。その地にゆかりのある作曲家・中山晋平の代表作である「シャボン玉」にちなんで、シャボン玉を使って地域の一体感を出すためのイベントの開催を決定。「まずやってみる！」。このことを胸に活動中。

足助 地元市民へのヒアリング調査実施 M2 西川 亮

7月16-19日に今年度第二回調査を実施。メインは観光協会や商工会、地元の方へのヒアリング。M2の引退と合わせて9月に今年度前半の区切りを迎える足助PJ。一人一提案を目標に夏を走る。

都市デザイン研究室 瓦版

情報欄

「佐原涼み」

佐原で8月13-15日に夏祭りに合わせて「回遊性」の実験・イベントを行います。一緒にやりたい方、佐原を観光したい方、是非、佐原まで足をお運び下さい。夏は佐原で盛り上がりましょう!!

8月上旬の予定

- 8月1日 まちづくりスクール公開シンポジウム(柏)
- 8月4-5日 佐原現地調査
- 8月6-7日 軻現地調査
- 8月10日 浅草地元の方々との打ち合せ
- 8月13-15日 佐原「回遊性」実験

編集後記 text_fujii

修士2年の夏休み。個人的には学生生活最後の夏休み。社会の価値観や常識に捕われなくて、やりたいことと思う存分やっていきたいと思う今日この頃です。